

入札時において提出を求める内訳書について

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」第12条の改正により、全ての工事について入札時に内訳書の提出が義務づけられます。

県におきましても、以下のとおり対応します。

- 対 象： 全ての工事の入札
- 提出時期： 入札時に入札書と同時
- 様 式： 「工事費内訳書」に統一
- 取 扱 い：

開札時

- ・ 工事費内訳書の提出がない場合は失格となります。
- ・ 工事費内訳書記載の、『工事名』、『工事番号』、『工事場所』、『所在地』、『商号又は名称（押印不要）』については、別記2「入札書における失格・無効基準」の取扱いに準じ確認します。
- ・ 『工事区分・工種・種別』、『金額』に関しては、記載されていることのみ確認します。（設計書と突合しません。）確認できない場合は失格となります。
- ・ なお、下記に該当する場合についても失格となります。
 - ① 『入札書記載金額』が応札額と異なる場合。
 - ② 金額を訂正している場合。

入札書の記載において、次の場合は、失格または無効となりますので、ご注意ください。

◎入札書における失格・無効基準

様式 1

入札書

金		億		百		千		円
---	--	---	--	---	--	---	--	---

1 工事名 ○○○○ ○○○○工事(事業)

2 工事番号 第 ○-○-○ 号

3 工事場所 ○○市 ○○ 地内

4 入札保証金 免除 円
 ただし、現金 円
 代用証券 円 (内訳別紙のとおり)

入札心得を遵守のうえ、上記のとおり入札します。

平成○○年○○月○○日

奈良県知事 荒井 正吾 殿

入札者 住所(所在地) ○○県○○市○○

氏名(名称) ○○○○株式会社
 代表取締役 ○○○○

(代理人 ○○○○ 印)

金額の訂正…無効
 金額の桁ずれ…無効
 数字判読不能…無効
 未記入…無効

工事名間違い…失格
 未記入…失格

番号数字の違い…失格
 未記入…失格

工事場所間違い…失格
 未記入…失格

公告日(入札通知日)～開札日
 の間以外の日付記入…失格

市町村長等他団体あて…失格

誤脱・未記入…無効
 印もれ・印影不明瞭…無効

(代理人入札のとき)
 誤脱・未記入…無効
 印もれ・印影不明瞭…無効
 委任状と異なる印…無効